



【家庭数配付】

スロースタートから次のステージへ

児童が、学校生活になめらかに移行できるよう、豊富小学校では、スロースタートを心がけてきました。学校再開から 1 ヶ月が経とうとしています。児童が学校生活に順応してきたところで、生活の質を高める取り組みを始めます。



始めの一步 室内で静かにすごしましょう

元気なことはよいことですが、室内では室内の正しい過ごし方があります。児童の安全を守るため、マナーを学習するため、「室内で静かにすごす」ことから始めることにしました。7 月になると、生活委員会が中心となり全校での取組を行う見通しですが、梅雨に入り室内で過ごす時間が増えてきたので、1・2 年生だけ、教員が中心となって先行実施することになりました。

やるとなったら徹底してやるのが豊富小学校です。教員が大きな声で児童を叱責するのではなく、児童にしっかりと課題をつかませ、みんなで学校をよくしていこうという姿勢で取り組みを始めました。

まずは、学級担任が動画なども効果的に活用しながら児童に話をして課題をしっかりとつかませました。教頭も 1・2 年生の教室を訪れ、小学生としてがんばるべきことを「自立」を軸として話して聞かせました。

「室内で静かにすごす」と言われても、何を頑張ったらよいのかよくわかりません。そこで、頑張るべきことが、できているかできてないかをはっきりと把握できるように、「廊下を走らない」というわかりやすい目標に集約して提示しました。

いよいよ休み時間になり、1・2 年生が廊下を通って校庭に出る時間がやってきました。学級担任だけでなく、職員室にいる職員や、教頭・校長も廊下や玄関に立ち、児童一人一人の行動が目標を達成しているかどうかをその場で児童と一緒に確認をしました。1・2 年生の頑張りに答えるように、高学年の児童もお手本となる行動を心がけてくれるようになりました。

このようにして、生活の質を高める取組に一つ一つ臨んでいきたいと考えております。

お知らせ

厚生労働省は、新型コロナウイルスの影響による小学校等の臨時休業等に伴い、子供の世話を保護者として行うことが必要になったことにより、仕事ができなくなっている子育て世代を支援するため、「新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金・支援金」を創設しました。詳しくは QR コードか、豊富小学校ホームページから情報をご覧ください。



助成金



支援金